

妻ヶ丘中学校だより

令和7年12月23日(火) 校長 飯干 裕二

都城市(妻ヶ丘地区)総合防災訓練が行われました



11月30日(日)に東小学校及び妻ヶ丘地区公民館にて、都城市総合防災訓練が実施されました。この訓練は都城市総務部危機管理課が主催するもので、主催者側より1年生全員のみの参加を要請されたため、本校では授業日(2、3年生は午前中授業)といたしました。各自治公民館の代表の方々も多数参加し、消防署、自衛隊、民間企業が多くのブースを設置された中、防災訓練を実施いたしました。開会行事の中、都城市長様から「若い人たちの防災意識の向上」、「自助、共助、公助の連携の大切さ」のお話をいただきました。大変、貴重な学びとなりました。

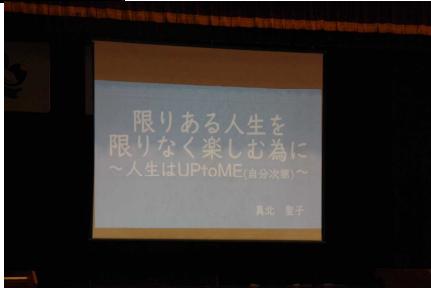
なお、参加した1年生全員には、主催者側より防災食のカレーライスをいただきました。

人権集会を行いました

全国人権週間に関連して、12月5日(金)に全校生徒を対象に人権集会を行いました。講師としてお招きしたのは、シンガーソングライターでMRTラジオのパーソナリティである真北聖子(まきた せいこ)氏です。真北氏は、突然、16歳の頃に脊髄動脈奇形という難病を発症し、その後、車イス生活を送られています。様々な困難に遭遇しながらも、全ては「自分次第」という前向きな信念のもと、生き生きと人生を謳歌されています。

ご講演を頂く中で、特に私が考えさせられたのは、真北氏が深く心を痛められた、「無意識の偏見」です。相手は悪意があって発した言葉ではなくても、真北氏は深く傷つきました。これは、言葉を発した本人だけの問題でしょうか。私はそれ以外にも、環境に大きな問題があると思います。もっと具体的に言えば、社会全般の教育が影響したと考えます。私も一人の大人として、常に人権感覚をアップデートし、子どもたち伝えていくことの大切さを学びました。

結びに、この人権集会は、本校の重点取組事項の一つである「命を大切にする教育」につながります。本来なら全校生徒での集会を実施したかったのですが、感染症拡大防止のため、3学級はリモートで参加しました。しかしながら、同じ時間にこの素晴らしい講演を共有できたことは、生徒にとって大変貴重な財産となつたはずです。



都城市ボランティアフェスティバルへ参加しました

12月21日（日）に都城まちなか交流センター（Mall Mall）にて、都城市ボランティアフェスティバルが開催されました。本校は主催者側より15名のボランティアの要請をいただき、生徒会執行部及び男子バレー部の生徒が中心となり参加してくれました。この事業は福祉



活動をメインとし、都城市内の多くの中・高校生がボランティアとして参加する事業です。参加してくれた生徒の皆さんお疲れ様でした。また、オープニングセレモニーの際に、本校の今までのボランティア活動が評価され、活動内容に関する発表を行いました。大変、名誉なことでした。

「ひとつのことば」から学ぶ

——「ひとつのことば」 北原白秋 ——

ひとつのことばで	けんかして	ひとつのことばで	なかなおり
ひとつのことばで	頭が下がり	ひとつのことばで	心が痛む
ひとつのことばで	楽しく笑い	ひとつのことばで	泣かされる
ひとつのことばは	それぞれに	ひとつの心を	もっている
きれいなことばは	きれいな心	やさしいことばは	やさしい心
ひとつのことばを	大切に	ひとつのことばを	美しく

皆さんもご存じだと思いますが、北原白秋の詩である「ひとつのことば」です。ここでも、12月の人権週間に関連して、少し掘り下げたいと思います。

近年、大きな社会問題として取り上げられるSNS等での誹謗中傷。頻繁にニュース等で話題となり、心を痛めているのは私だけでしょうか？本校でも残念なことに、心ない「ことば」のために、度々トラブルが発生しています。「ことば」は、使う人の心にあるものが、形になって表れたものです。言われた人が傷つき、痛く苦しくなってしまうような「ことば」を使うことはだめです。なぜなら、ボロボロになった心の傷は、完全に消えてなくなることはないからです。マザーテレサの「ことば」に

「優しいことばは、たとえ簡単なことばでも、ずっとずっと心にこだまする」とあります。綺麗な「ことば」は、使う人の心も、言われた人の心も綺麗にしてくれます。優しい「ことば」も同じです。普段何気なく使っている日々の「ことば」を見直し、大切に使っていきたいものですね。2025年の終わりに際し、再度、自分自身を振り返り、2026年は、相手を思いやる優しい「ことば」、美しい「ことば」が溢れる学校でありたいと願っています。

よいお年をお迎えください

明日の終業の日をもちまして、1年間の中で一番長い第2学期が終了いたします。様々な行事や取組が実施された学期でしたが、生徒の皆さんのが大きな事故等もなく、無事に学校生活が送れたことに大きな喜びと安堵を感じております。これも日頃から学校を支援してくださる保護者・地域の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

最後に、皆様におかれましては、2026年が素晴らしい年になりますようお祈り申し上げます。そして、来年も変わらず本校へのご支援とご協力をお願ひいたします。